

三河商人道

PART
173

株式会社 柴幸建設

専務取締役

柴田 輝彦 君

青年部とは 飲み会



【会社・仕事への思い】

ももとは祖父が採石業として創業しました。しかし、採石業の収入は不安定で博打の要素が強かったため、安定を求めて土木業へと転換されました。現在では宅地造成、擁壁工事、外構工事、道路工事などの土木工事一式を中心に行っております。お兄様と一緒に経営されているようで、お兄様はJC、輝彦先輩はYEGに加入したため、当時はなかなか現場に出られなかったとのこと。しかし、そのおかげで若い衆がものすごく成長したそうです。輝彦先輩いわく、最初はものすごく心配だったが、今はその時に育った若い衆が会社を動かしている。人に任せるといことは勇気があることだが、ものすごく大切なこと、ということです。

【青年部に入会されたきっかけ】

18年前に友人である池野さんと共に、ひとまわり仕事を大きくしたいとの思いで団体に所属しようと思ったことが、商工会議所青年部に入会したきっかけだそうです。当初はJCを考えていましたが、ゆるくて楽しいとの噂を聞きつけ、商工会議所青年部に入会されました。

【思い出に残る青年部活動】

15周年のときに出場したみこし祭りで優勝できたことは今でも思い出に残っているそうです。伴委員長のもと、大学生とともにみこしを2つ作ったり、味噌樽の中にしゃぼん玉を入れたりして、必ず優勝するぞ、という意気込みで臨み、本当に優勝できたときには、最高の気分だったとのこと。あまりの嬉しさに、その後のけんたまの打ち上げで、予算を10万円オーバーしてしまったそうです。(笑)

【趣味など】

カメラとパソコンが趣味だという柴田さん。おそらく家一軒くらいの費用をかけたそうです。カメラは風景画が好きで、10kg以上あるカメラで撮影されています。パソコンについては、何とご自分で組み立てて、オリジナルのものを作ってしまうほど。ただ、パソコンは老眼により引退し、最近ではアテモヤ・グリーンダイヤモンド！？なる植物の栽培に熱中されています。

【青年部とは・・・】

「青年部とは 飲み会」飲み会により、たくさんの仲間ができたとのこと。また、仲間と一体となった後の、一人一人の力は無限大だと思うので、ぜひいろいろな場面での飲み会でたくさん仲間を作って欲しい、とのことでした。



取材担当/
人財育成委員会
飯田光明、神尾俊陽、
河合尚人、近藤孝祐、
菅井竜二、池野正美、
岡田隆治、戸田芳江、
中根邦博、山本哲生